

新宮市文化複合施設管理運営実施計画書(案)についてのパブリックコメントで寄せられたご意見とそれに対する本市の考え方

6件のご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

関係部分	ご意見	本市の考え方
IV-i	メジャーな人を呼んで欲しい。 市民音楽祭や学校関係の音楽行事なども利用して欲しい。	質の高い鑑賞事業、普及・育成事業などバランスの取れた事業展開を行い、まちににぎわいを創出したいと考えています。身近な文化活動においても施設を利用していただけのように、使いやすさを追求してまいります。
IV-i	プレイベント(事業計画)を通じて、今後どのような方に向けて誘致を行う予定ですか。 市出身者や県内の方など条件はあるのか。新宮市に興味を持つ著名人や研究者の方などを誘致して欲しい。	貸館利用は、市外へも積極的にPRして事業を拡大させる営業に努めます。 自主事業では熊野文化魅力発信事業を中心に事業作りを行います。ご意見の通り、出身者に限らず様々な人的交流を積み重ねて、講師等を招へいすることは魅力ある事業の一つとなると考えています。
IV-ii	市外の方の利用も可能か。	可能です。
IV-ii	ホールは午後9時まで開館の予定で、要望があれば午後9時以降も使うことができているが、要望が多い場合の運営はできるのか。	ホール利用の申請時に催し物のお打ち合わせをします。特別な場合に時間外での利用を認めることになります。急遽、午後9時以降の利用が発生する場合は、延長利用の取り扱いとします。
IV-iii	図書館では子どもたちの意見も取り入れて本の購入をして欲しい。	既存のリクエスト制度などは継続して実施します。子どもたちにも制度を活用してもらえよう周知に努めます。
その他 IV-vi	施設を建築するにあたり、建築費用、維持費用(運営)など、財源確保はどのように考えているか。	施設建設にかかる経費は、事業費総額約62.3億円です。国・県からの補助金、地方債、積立基金等を活用して市の実質負担額は約16億円と見込んでいます。文化複合施設住民説明会(資料)P.21もご参照ください。 維持費用は、本計画書(案)P.31に示す項目を見込んでいます。現文化振興課の職員配置転換分の人件費及び使用料収入等を除いた市負担を年間約1億円程度と想定しており、行財政改革などの取り組みも進め、市の全体収入の中で賄うこととしています。